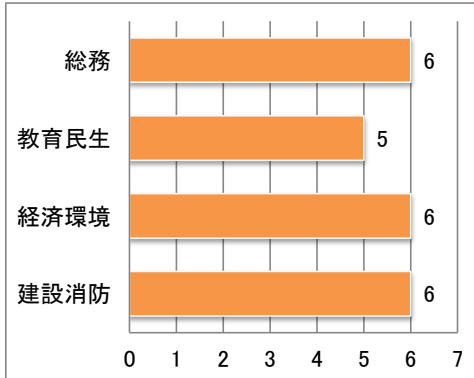


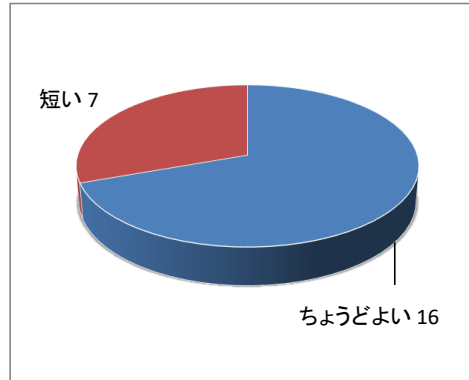
令和6年度高松第一高等学校生徒との意見交換会 アンケート集計結果

参加人数：30人（アンケート提出人数23人）

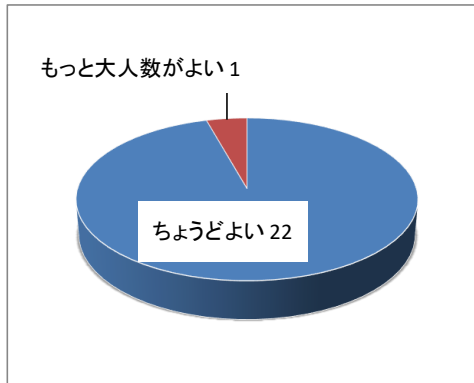
問1 参加グループ（委員会別）（人）



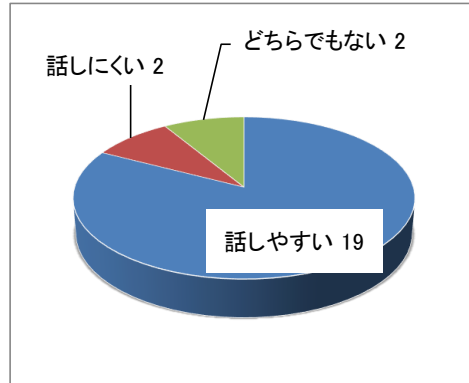
問2 意見交換の時間（人）



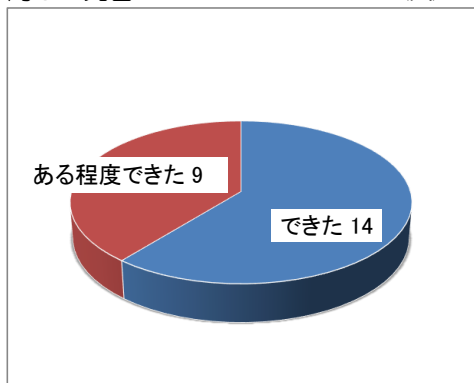
問3 参加人数（人）



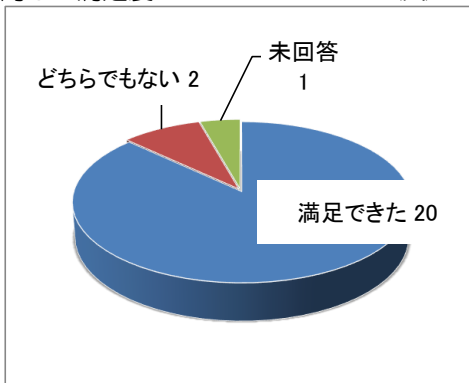
問4 意見交換会のテーマ（人）



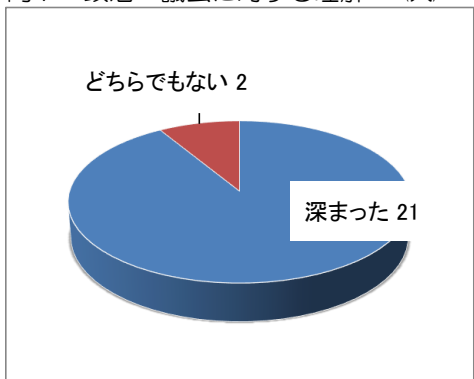
問5 発言（人）



問6 満足度（人）



問7 政治・議会に対する理解（人）



問8 市政について、どのような関心があるか。どのようなことを議論したいか。
・中央公園のリニューアルについて、どのような雰囲気の公園にするかについて議論したいです。 ・人々が安心・安全に楽しく過ごせるためのはたらきについて ・特に人々の政治や市議会の考えに興味がある。 ・市が関わっているイベントにどのようなものが多いのか。どれが人気なのか。それはどのような人が来ているのか。など市民にはわかりづらいこと。 ・まちづくり、Uターン、Iターン（移住） ・選挙率 ・市政情報発信のとりくみ ・子育て ・町おこし ・税金の使われ方 ・子育て支援 ・教育保障について ・よりよい町にするためになにができるのか ・活気のある町にするためにどうすればよいのか ・高松市のプロムナード政策について、公共交通機関を使うことが多い人は大丈夫だけど、車をいつも使っている人にとっては生活しにくくなるのではないかなと思っている。 ・市民の意見がどのように取り入れられているか ・今までどんなことをやってきたのか、その効果とか ・市長との関係 ・国政や県政に進出する人も多いのか ・ICTの在り方について議論できてよかったです。自分の考えを発言できました。 ・香川県の活性化 ・市議会議員さんたちが、どのようなことを行っているのか、今まで全然知らなかったのもっと知りたいと思いました。また、今回のようにもっとシティプロモーションについて議論したいと思いました。 ・政府の方がどのような事を課題と捉え、それをどのように解決につなげていくのか。地方としての環境問題対策。 ・SDGsなどよく現状の日本社会で耳にする言葉があるが、そのような諸問題を政府は、地方はアクションを行っているのでしょうか。 ・学生からみる政治について、 ・町のユニバーサルデザインの普及 ・交通 ・ICTとアナログをどのように区別して、より効果的に活用するのか。 ・ICTにどのように力を入れているのか ・学校以外の場でもICT化をしているのか ・地域をよりよくするために、色々な面から政策を考えていること。 ・サンポート高松の商業を盛り上げる方法を考えたい。 ・県外に出た後、もう一度高松に戻ってきたいと思わせるための政策について ・高松市がこれからどのように発展していくか（どんな施設が増えるかなど）、に関心がある。 ・人を呼び込むためのPRをどのように展開していくか。

問9 感想・議会に対する意見等
・委員長さんが話をふってくださいだったので、ちゃんと自分の意見を伝えることができました。また、先輩方や音楽科の方々とも意見交換することができたので良かったです。とても貴重な体験をさせていただきました。 ・無料で勉強したり話したりできる場所をいろんな場所に増やしてほしいです。 ・外国から来た人との関わりを増やしてほしいです。 ・中学生・高校生が外国の方に日本語を教える機会などがあればギブアンドテイクができて楽しい気がします。 ・気軽に町の人と人が関わる機会があればいいなと思います。申し込みなしでふらっと立ち寄りたいです。 ・空き家の人々に自由に改造したり壊したりして自分たちがやった感があれば自分の町に対して「ほこり」がもてると思います。 ・前回の話し合いで自分たちが要望した意見に思った以上の進展があつて驚きました。意見交換をすることで議員さんの仕事ぶりが少しわかってこれからは自分で市政について調べてみようと思いました。このような機会をもっと増やせば私のように市政に興味を持つ人が増えると感じました。 ・政治（行政）にあまり意見を届ける機会がない私たちが意見を伝える場をいただくことができてうれしかったです。 ・選挙権を持たないわたしたちの意見を親身になって聞いてくださり、また、話しやすい雰囲気づくりをしてくださったので、のびのびと発言できました。また、議員の方たちはもっとカタイイメージだったのですが、今回のこの場のおかげで親しみあるイメージに変わりました！

問9 感想・議会に対する意見等

・高松をどうしたら知ってもらえるか、等の話がたくさんできたので、これからどのように生かされるのが楽しみです。

・現在の小学校でICT活用の現状を知れたり、他の友達や議員の方と意見交換ができてよかった。

自分も学習にICTを用いている中で、「もっとこうだったらいいのに」や、「これはどうなのか」と思うことがあるので、そういったことを意見として伝えられたので、それが実現していけば良いと思った。

・高松市を良くするための意見を伝えることができてよかった。今まで市政についてあまり興味がなかったが、今回の意見交換会が市政について考えるいい機会になった。

・高校生で、多くの議員さんとお話をできる機会など滅多にないので貴重な経験になりました。ありがとうございました。

・意見交換会のテーマが、アートや音楽だったので、とても身近に感じられて楽しく話し合いができた。自分の提案した意見が今後反映されるといいなと思った。選挙権がまだない私たちの意見を聞いていただけるのはとても貴重な機会なので、これからも続けてほしい。

・昨今の意見交換会よりも、私たちの意見が本当に取り入れられるような感じがしてよかった。

・議員のみなさんが話しやすい雰囲気を作ってくれて、緊張が軽くなりました。

・市議会議員の方が生徒のレベルに合わせてくれたので話しやすかった。相づちなどもたくさんしてくれてひるむことがなかった。

・他の人の意見をもとに自分の意見を固めることができました。

・1回目より2回目の方が雰囲気が和んでいて話しやすかったです。貴重な経験ができました。

・市議会議員さんたちと意見交換できるなんて、本当に貴重な時間だなと思いました。自分がこれまで知らなかった高松の魅力について知れて楽しかったです。

・子どもたちのより良い教育のために、様々な角度から、たくさんの事を考えてくださっていることを直接感じる事ができ、嬉しかった。高校生だとしても対等に意見交換をして下さっていることも、私自身の学びがたくさんあり、直接意見交換させていただいたことが光栄だった。

・議員のみなさんから質問してくださったので、話しやすかった。

・今の小学校では先生たちのスキルも上がっていて、様々な意見を端末によって発信することができ、効果的に使われていることを知り、自分たちの時代とは、かなり違いがあることが分かった。高校の活用の仕方と、今の小学校での活用の仕方を知りたい。

・自分の意見を市議会議員の方々に伝えられたのでよかったです。音楽で高松をもっと盛り上げるために、音楽のイベントやコンサートに積極的に行こうと思います。また、演奏を伝える側としても、感動する音楽が伝えられるように練習頑張りたいです。1回目で、「演奏をする機会を増やしてほしい」と提案させてもらったら、演奏できる場を考えてもらいうれしかったです。ありがとうございました。

・まちなかの音楽という、身近でとても話しやすいテーマだったので、すごく話していて楽しかった。これからもこのようなテーマで高校生にしか思い浮かばないような意見を取り入れながら続けていってほしいと思う。

・市議会は遠い存在で偉そうな人たちが難しい話をしているのかなというイメージだったけれど、話してみるとすごくおもしろい人たちがばかりで、話もたくさん聞いてくれて、いい意味でイメージがぶち壊されました。自分のアイデアを聞いてもらって、反映されるという体験は新鮮だったし、アイデア出しや、会もとても楽しかったので、来年も参加したいと思いましたが、来年は受験でした。かない。

問10 高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていけばよいのか。

・でこぼこしたアスファルトの道の整備

・いろいろな音楽イベントの実施

・瓦町駅にお店を増やしにぎやかに！

・雨の日に人が少しどんよりしているとき、つつみこんでくれるまちづくりを個人的にはしたいなって思ってます。情報に左右され、人間関係にも左右され、精神的に疲労している人の心に町のあたたかさを感じてほしいなと思ってます。アバウトですみません。本当に楽しかったです。ありがとうございました。これからもご協力お願いいたします。

・今回、意見交換をしてとても感じたのですが、市民と議員さんが直接対話をする機会を増やし、そこで出た意見を基にまちづくりをしていけばよいと思いました。そしてその市民も様々な年齢層と対話することで市民みんなのニーズにこたえられるといいなと思いました。また、市民だけでの話し合いでも良いのかなと思いました。様々な年齢層での意見は新たな良い案が出ると思います。

・これからもいろいろなところから意見を取り入れていけばいいと思います。市議の方々も元々やらないといけないことが多くあると思うので、地域活性化などは香川の法人さんなどと連携したり、援助していけばいいと思います。

問10 高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていけばよいのか。

・このような地域住民と話し合っ、住民を巻き込んだ形での市政体制にしていくといいのではないかと感じました。また、住民みんなが高松市に対して、シビックプライドを意識するように呼びかけたり、愛着がわいてしまうような思い出が作れるスポットやイベントの企画が大切なのかなとも思いました。高松市のロゴも活用していけばいいと思います！

・街のほうだけでなく、田舎のほうにも積極的な働きかけがほしいです。(ex:荒れた田の活用、道の舗装、交通の普及)

・るいなりさま というYoutuberが香川に来たVlogと、旅行に使ったお金、行った施設などを調べて紹介していて、とても分かりやすかったので、そのような紹介ができればよいと思いました。

・外国人や県外の人も来たいと思えるような活発なまち、市民の人も住みやすいと思えるまちづくり

・県外に出た人が香川県に帰ってきたいと思えるような楽しく活気のある町にしていけば良い。音楽やアートなどの芸術がまちなかにあふれているような町にすればよいと思う。

・若い人にも魅力的な街、家族で過ごせる街、バリアフリーが充実している街、海外の方にも分かりやすい街になっていったらいいなと思います。

・魅力ある都市にするために、様々な施設を作り町を活性化することはいいと思うが、施設を作るにあたって近隣住民への説明をきちんと行い、しっかりと同意を得られた場合のみ行うべきだと思う。私は、新しくできるアリーナの近くに住んでいるが、アリーナの建設と同時に進行されている1車線化には納得していない住民の声を聞いたことがある。説明会も行っているが、日常的に利用している住民の意見を反映しきれていない町は住みやすく魅力のある都市とは言えないと思う。多くの人が集まった時のことだけを考えるのではなく、近くで生活する人達のことを1番に考えることが、住みやすく魅力のある都市のために大切だと思う。

・市民と行政の距離が近い政治を行えばよいと思いました。

・若い人たちが、高松に残りたいと思えるように、高松にしかないものをアピールする。

・音楽や美術など、芸術のあふれるまちになってほしい。

・今回みたいな、いろいろな人が気軽に参加できる意見交換会をたくさん開催したらいいと思う。

・安全に生活できて活気のまちづくり

・市民の声をたくさん聞いて、取り入れるようにする。もっと市民をまきこむような政治をする。

・個人としては、自分が不便に思ったり改善したいと思ったりした点を解決するために行動することが大切だと思う。しかし、個人の力には限りがあるので、行政・議会に意見を提案する方法がたくさんあると、市民の声がより市政に反映されると考える。

行政・市政としては、何か政策をつくるとき、つくらないときに関わらず地域や現場の声を視察などによって直接知ること大切だと思う。

・小さい子からお年寄りまですごしやすい都市

・学校やその地域の活性化(行事や、地域の人と関わる機会を増やしたり、学校のICTに対する取組を紹介する。)

・地元PRの発信(新しくできるアリーナで、フェスやライブなどを行い、県外からの人を集めて、香川県をPRする。)

・公園を多くする。

・地域の祭りを盛り上げる。

・ゴミ箱の設置場所を増やす。

・高松の観光地や文化を県外に発信する。(ツイッター、ユーチューブなどで)

・商店街のような高松独自の魅力を再建させ、県内だけでなく、県外にも発信していく必要があると改めて感じた。もうすぐ完成するあなぶきアリーナなど、県内の魅力はたくさんあると思うので、SNSなどを有効に活用していくことでより魅力的で住みやすい都市になると思う。

・歩きたい！と思えるような街にすればいいと思う。道にうどんオブジェをつくったり、ヤドンおいたり、ポケモンGOとコラボしたり、有名店を商店街にたくさん誘致したり…。

・高松の魅力をinstagramやTikTokでPRすればいいと思う。

・ことでんを助けるべきだと思う。市民にとっては大切な移動手段だから、車両故障や踏切事故を防ぐための資金援助、駅の改修工事も！！

・田舎の再開発もお願いします。